

京都市では、施設の運営状況を分かりやすくお伝えする取組を行っています。

元離宮二条城の運営について

二条城は、1603年徳川家康により築られました。その後、国から京都市に下賜され、元離宮二条城として1940年（昭和15年）から一般公開しております。

合わせて、国宝の二の丸御殿をはじめとした文化財を保存し、次世代への継承に取り組んでおります。

施設の主な取組（概要）

【世界遺産・二条城本格修理事業】

世界共通の財産である世界遺産・二条城を次代へ保存・継承していくために、平成23年度から約20年間にわたり、国宝・重要文化財建造物の本格修理事業を実施しています。

＜平成23年度～平成25年度は唐門・築地塀の本格修理を実施しました＞



【修理前】



【修理後】

＜平成29年度からは本丸御殿の本格修理工事を実施しています＞



【本丸御殿】

※工事は令和6年3月末に完了予定です。

施設運営に関する支出・収入（概数）

入城者1人あたりに換算すると、入城料収入等による年間の収入は880円（総額11.1億円）であり、運営費の840円（総額10.6億円）を賄っています。

＜支出：利用者1人あたりの運営経費840円（総額10.6億円）＞

施設運営費 340円	施設営繕費 280円	人件費 220円
---------------	---------------	-------------

＜収入：利用者1人あたりの収入880円（総額11.1億円）＞

入城料収入等 880円
